

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 21 週（2024/5/20～5/26）感染症発生動向調査速報値（2024/5/29 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数：**158** 人、定点医療機関当たり **3.29** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

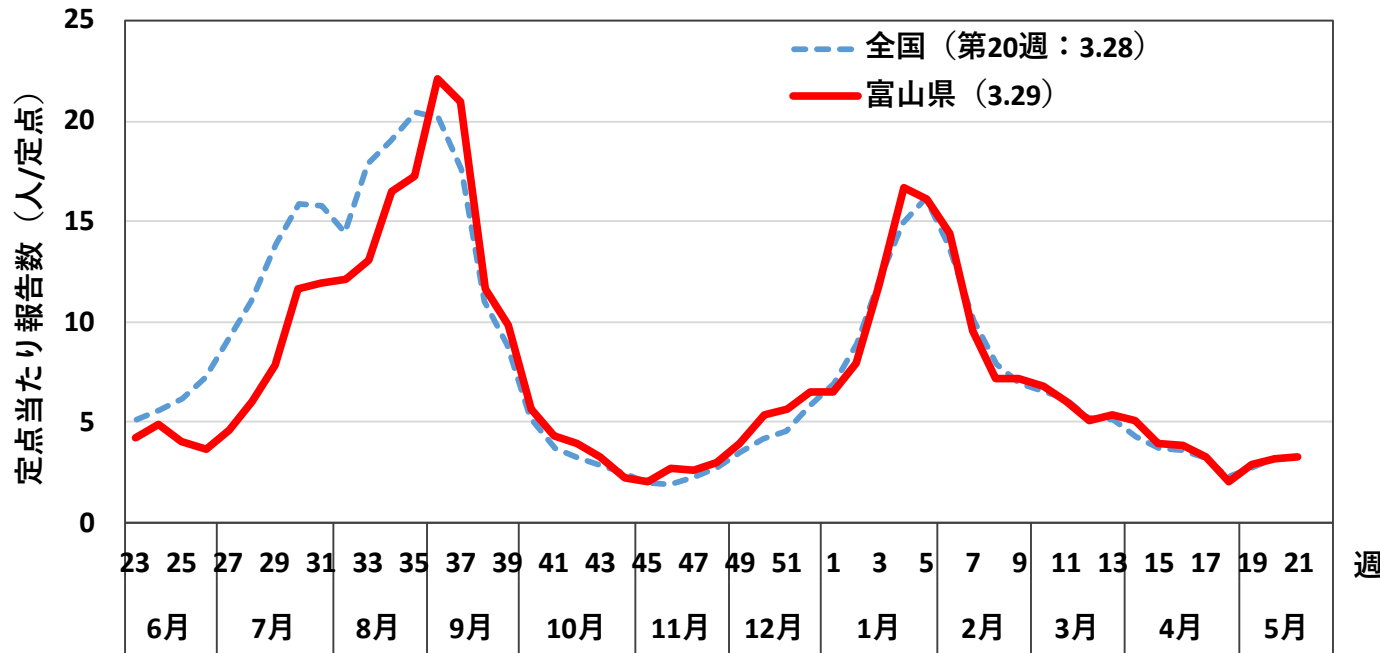
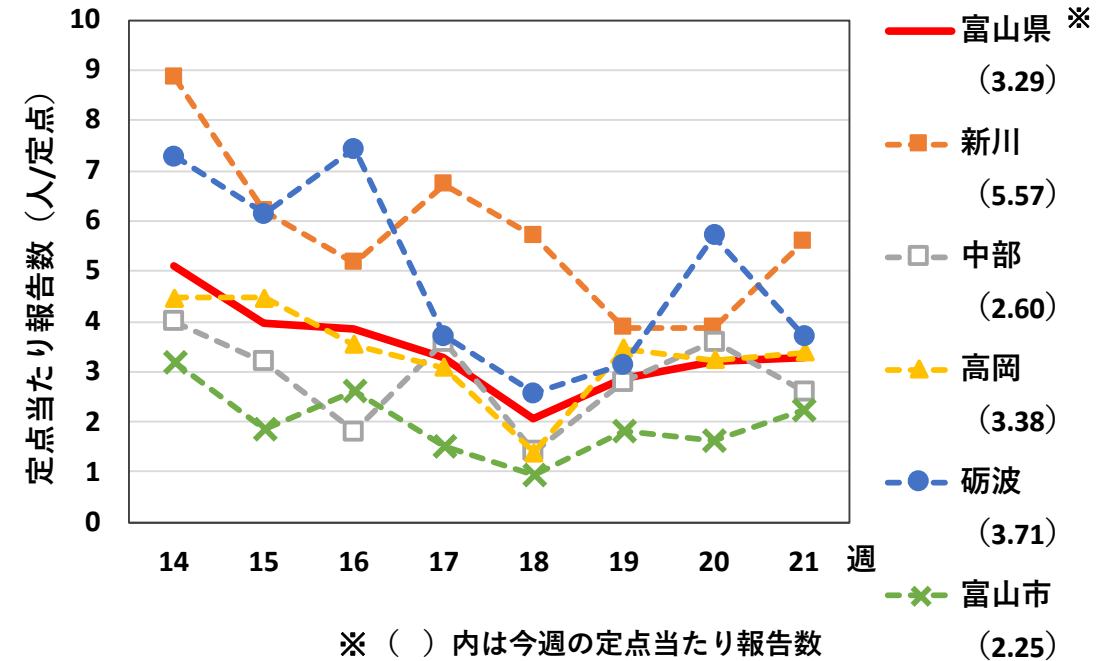


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今週の定点医療機関当たり報告数は3.29人/定点であり、先週（3.19人/定点）からやや増加した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、砺波と中部管内では先週から減少したが、新川管内では増加、高岡、富山市管内では横ばいであった。

※過去の報告数は富山県感染症情報センターHP報告数一覧からご確認ください。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

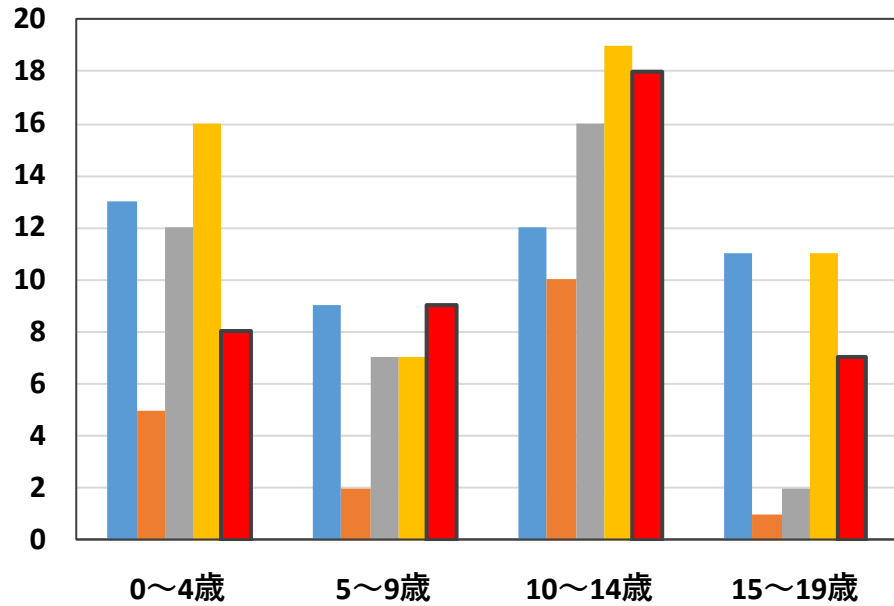
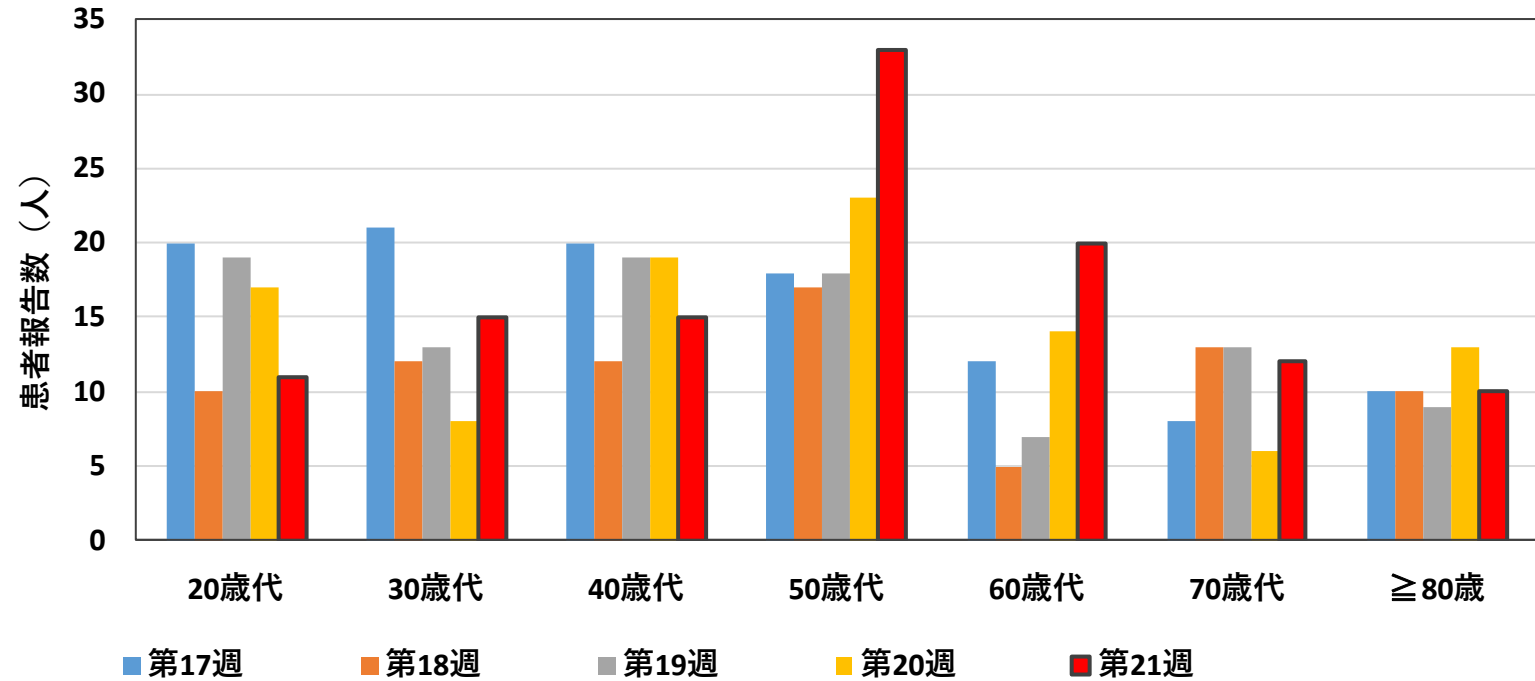


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～9歳、30歳代、50～70歳代で先週から増加した。特に50歳代の増加が顕著。その他の年代は先週から減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス

患者報告数の推移（富山県）

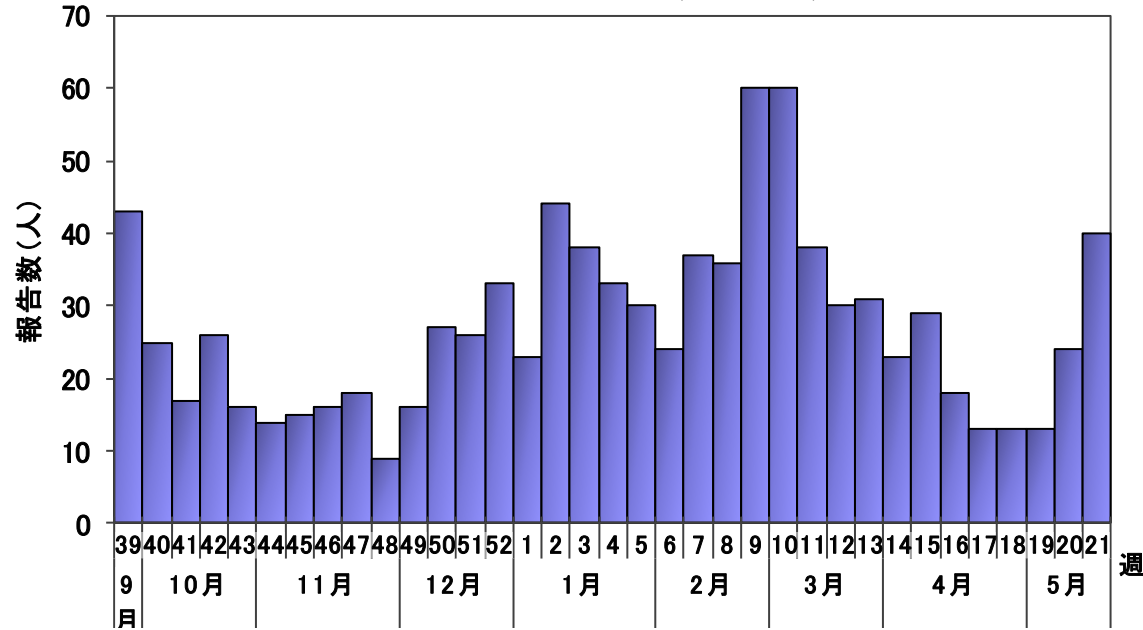
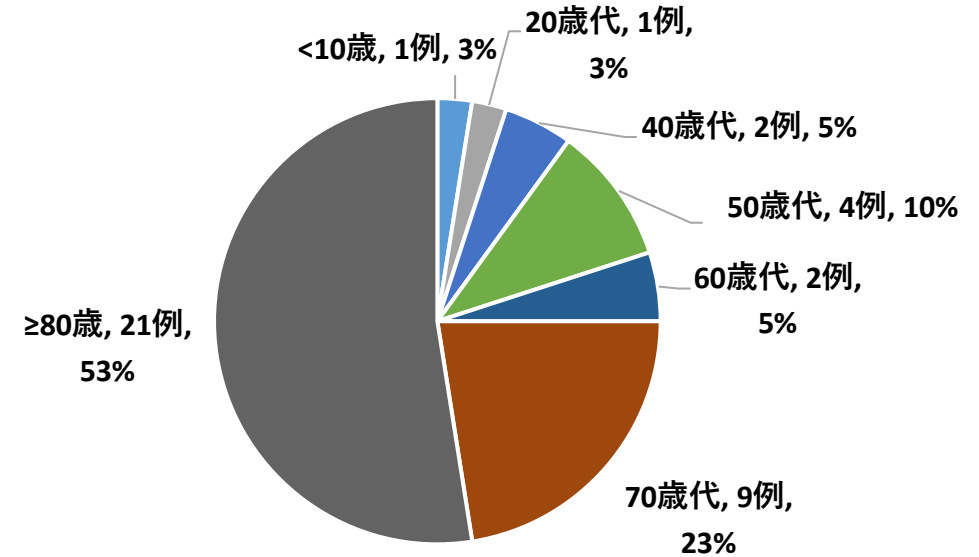


図5.COVID-19入院サーベイランス

年代分布（第21週、40例）



※割合(%)は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第21週に40例の入院報告があり、先週（24例）より増加した（図4）。
- 年代分布では、70歳代が9例、80歳以上が21例で、70歳以上が75%を占めた。10歳代、30歳代を除くすべての年代で報告があった（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに減少傾向が継続していたが、第19週以降緩やかに増加している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。